

吸収合併に係る事前開示書面（変更）

ウェルネオシュガー株式会社

2024年6月21日

吸収合併に係る事前開示事項（変更）
（会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条に定める書面）

東京都中央区日本橋小網町1-4番1号
ウェルネオシュガー株式会社
代表取締役社長 山本 貢司

当社、伊藤忠製糖株式会社（以下「伊藤忠製糖」といいます。）および日新製糖株式会社（以下「日新製糖」といいます。）は、2024年10月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、伊藤忠製糖および日新製糖を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます。）を行うことといたしました。

本合併に関しまして、2024年6月5日に事前開示事項の備置を開始しておりますが、日新製糖の2024年6月20日付株主総会において、同社の2024年3月期に係る計算書類が承認されたことに伴い、同社に新たな最終事業年度が存在することになりましたので、会社法施行規則第191条第7号の規定に基づき、下記のとおり変更後の事項を開示いたします。

記

[変更後の事項]

吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容

日新製糖の最終事業年度に係る計算書類等は別紙のとおりです。

以上

別紙

第 2 期 事 業 報 告

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

日新製糖株式会社

事業報告

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

1. 会社の状況に関する重要な事項

(1) 事業の経過および成果

当事業年度におけるわが国の経済につきましては、インバウンド需要が回復し企業業績の改善が見られるものの、不安定な国際情勢、世界的な金融引き締めによる為替影響、物価上昇による個人消費の伸び悩みなどにより先行き不透明な状況が続いています。

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり **22.35** セントで始まり、主要生産国ブラジルでの穀物の輸出増加による物流面での混乱懸念等から4月下旬には **27** セント台半ばまで上昇しました。ブラジルでの生産や輸出が順調に進んだことで一時 **21** セント台まで下落しましたが、インドの減産懸念から砂糖輸出禁止措置が発表されると再度上昇し、11月上旬に今期高値となる **28.14** セントに達しました。その後、ブラジルの輸出量が大幅に増加するとの見方から今期安値となる **20.03** セントまで急下落し、安値圏では実需国の買いが相場を下支えする中でインド、タイの減産観測の緩和により上値も抑えられ、**22.52** セントにて当期を終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

| | 日付 | セント/ポンド | 円/kg | 為替（円/ドル） |
|-----|---------------|---------|-------|----------|
| 始 値 | 2023年 4月 3日 | 22.35 | 66.10 | 134.15 |
| 高 値 | 2023年 11月 7日 | 28.14 | 93.74 | 151.10 |
| 安 値 | 2023年 12月 26日 | 20.03 | 63.26 | 143.27 |
| 終 値 | 2024年 3月 28日 | 22.52 | 75.72 | 152.52 |

（注）1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

一方、国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては上白糖1kg当たり **227** 円～**229** 円で始まり、海外原糖市況の高騰を受け、7月下旬に **12** 円、1月中旬にも **10** 円と合計 **22** 円上昇し、**249** 円～**251** 円で当期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、インバウンド需要の回復により土産菓子、外食関係向けなどが持ち直したものの、食品価格の値上げが続いたことによる消費低迷や家庭内調理機会の減少の影響を受けました。そのような中、独自製品のきび砂糖の出荷は好調に推移しました。売上収益につきましては、コスト上昇に対する売価への反映を進めたことにより増加しました。利益面においては、有利な原料調達ができたとにより大幅な増益となりました。

(2) 財産および損益の状況

| 区 分 | 第 1 期 | 第 2 期 |
|---------------|------------------------------|----------------------------------------|
| | (自 2022.10.3 至 2023.3.31) | (自 2023.4.1 至 2024.3.31) (当事業年度) |
| 売上高 (百万円) | 10,238 | 47,033 |
| 当期純利益 (百万円) | 52 | 2,754 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 525,180 | 27,542,233 |
| 純資産 (百万円) | 29,531 | 32,494 |
| 総資産 (百万円) | 34,339 | 39,385 |

(注) 当社は2023年1月1日付で、ウェルネオシュガー株式会社よりグループ経営管理事業等を除く一切の事業に関する権利義務等を承継しました。第1期(前事業年度)は事業承継後3ヶ月の営業であったことから、第2期(当事業年度)の損益が大幅に増加しております。

(3) 重要な親会社の状況

当社の親会社はウェルネオシュガー株式会社であり、純粹持株会社として当社の経営管理事業および資産管理事業を行っています。当社の株式100株をすべて保有しています(出資比率100%)。

(4) 会社が対処すべき課題

当事業年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことや、行動制限が緩和されたことにより、社会経済活動は正常化に向かい、またインバウンド需要も増加したことから景気は緩やかに回復いたしました。

当業界におきましては、海外原糖市況の変動、エネルギーコストや資材包材コスト、物流コスト等の上昇や円安の影響による物価上昇が懸念されており、お客様の生活防衛意識の高まりや家庭内調理機会の減少による販売数減少が考えられ、依然として厳しい状況が続いております。当社としては、消費者の皆様に対して、生活必需品である安全・安心な砂糖を安定的に供給することで社会的責任を果たしていくことを最優先に取り組みながら、有利な条件での原料調達やコスト上昇に対する売価への反映を進め、採算性を重視したオペレーションに努めてまいります。

その他食品事業におきましては、機能性素材分野を当社の重点領域と位置付けており、カップオリゴ(ガラクトオリゴ糖)に加えて液体甘味料「きびオリゴ350g」(フラクトオリゴ糖)を新発売するなど、腸内環境の改善に資する機能性甘味料素材の生産・販売拡大を継続するほか、オーラルケア分野での効果が期待される当社独自のサイクロデキストランなどの機能性素材については、産学連携の研究開発と需要の更なる深堀りを進めてまいります。

当社は既に公表の通り、2024年10月1日付で、親会社であるウェルネオシュガー株式会社を存続会社とし、同社およびグループ会社である伊藤忠製糖株式会社と合併する予定であり、2024年5月24日付取締役会にて当該合併について決議しております。

この経営統合によるシナジー効果を早期に発揮し、Sugar軸の生産性向上、Food&Wellness軸の拡大を図ることにより、業績の向上を目指してまいります。

(5) 主要な事業内容（2024年3月31日現在）

砂糖その他食品の製造販売

(6) 主要な事業所（2024年3月31日現在）

本社（東京都中央区）

仙台営業所（宮城県仙台市青葉区）

千葉物流センター（千葉県千葉市美浜区）

千葉工場（千葉県千葉市美浜区）

名古屋営業所（愛知県名古屋市中村区）

西部営業部（大阪府大阪市城東区）

今福工場（大阪府大阪市城東区）

広島営業所（広島県広島市東区）

福岡営業所（福岡県福岡市博多区）

沖縄ラボ（沖縄県うるま市）

(7) 使用人の状況（2024年3月31日現在）

従業員数 256名

平均年齢 44.2歳

平均勤続年数 19.0年

2. 株式に関する事項（2024年3月31日現在）

- | | |
|----------------|---------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 100株 |
| (2) 発行済株式総数 | 100株 |
| (3) 当事業年度末の株主数 | 1名 |
| (4) 大株主 | ウェルネオシュガー株式会社 |

3. 会社役員に関する事項（2024年3月31日現在）

(1) 取締役および監査役の状況

| 会社における地位 | 氏名 | 担当および重要な兼職の状況 |
|----------|-------|-------------------------|
| 代表取締役社長 | 仲野 真司 | ウェルネオシュガー(株) 代表取締役会長 |
| 取締役 | 大久保 亮 | ウェルネオシュガー(株) 取締役 専務執行役員 |
| 取締役 | 三枝 恵 | |
| 常勤監査役 | 西本 靖文 | |

(2) 執行役員の状況

| 会社における地位 | 氏名 | 担当および重要な兼職の状況 |
|----------|-------|--------------------|
| 執行役員社長 | 仲野 真司 | |
| 執行役員副社長 | 大久保 亮 | 原糖部担当 |
| 専務執行役員 | 森永 剛司 | (株)日新ウエルネス担当 |
| 専務執行役員 | 飯塚 裕之 | 総務部・エンジニアリング部担当 |
| 常務執行役員 | 砂坂 静則 | 生産本部長 |
| 常務執行役員 | 柴田 弥 | 人事部担当、生産本部今福工場管理部長 |
| 常務執行役員 | 山口 康雄 | 総合企画部担当 |
| 常務執行役員 | 三枝 恵 | 営業本部長 |

| | | |
|------|--------|-----------------------|
| 執行役員 | 佐々木 洋治 | 新東日本製糖(株)代表取締役社長 |
| 執行役員 | 中村 泰之 | 品質保証部・お客様相談室担当、商品開発部長 |
| 執行役員 | 飯倉 聡 | ツキオカフィルム製薬(株)代表取締役社長 |
| 執行役員 | 小川 人嗣 | 生産本部今福工場長兼工務部長 |
| 執行役員 | 大場 健司 | 財務部担当 |

4. 会社役員に関する事項（2024年4月1日現在）

(1) 取締役および監査役の状況

| 会社における地位 | 氏名 | 担当および重要な兼職の状況 |
|----------|-------|-------------------------|
| 代表取締役社長 | 仲野 真司 | ウェルネオシュガー(株) 代表取締役会長 |
| 取締役 | 大久保 亮 | ウェルネオシュガー(株) 取締役 専務執行役員 |
| 取締役 | 三枝 恵 | |
| 常勤監査役 | 西本 靖文 | |

(2) 執行役員の状況

| 会社における地位 | 氏名 | 担当および重要な兼職の状況 |
|----------|--------|----------------------|
| 執行役員社長 | 仲野 真司 | |
| 執行役員副社長 | 大久保 亮 | 原糖部担当 |
| 専務執行役員 | 飯塚 裕之 | 総務部・エンジニアリング部担当 |
| 常務執行役員 | 砂坂 静則 | 生産本部長 |
| 常務執行役員 | 柴田 弥 | ツキオカフィルム製薬(株)代表取締役社長 |
| 常務執行役員 | 山口 康雄 | 経営企画部担当 |
| 常務執行役員 | 三枝 恵 | 営業本部長 |
| 執行役員 | 佐々木 洋治 | 新東日本製糖(株)代表取締役社長 |
| 執行役員 | 中村 泰之 | 商品開発部・品質保証部・お客様相談室担当 |
| 執行役員 | 飯倉 聡 | D X推進担当 |
| 執行役員 | 小川 人嗣 | 生産本部今福工場長 |
| 執行役員 | 大場 健司 | 財務部担当 |
| 執行役員 | 細谷 伸之 | 営業本部西部営業部長 |

(注) 本事業報告中の記載金額は表示単位未満を切り捨てております。

附属明細書

取締役および監査役の兼務の状況の明細

事業報告 3～4 ページに記載されているとおりであります。

第 2 期 計 算 書 類

〔 自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日 〕

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

日新製糖株式会社

(単位:百万円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-----------------|---------------|-----------------|---------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 流動資産 | 18,619 | 流動負債 | 5,977 |
| 現金及び預金 | 5,157 | 買掛金 | 3,157 |
| 売掛金 | 4,763 | 未払金 | 180 |
| 商品及び製品 | 4,457 | 未払費用 | 979 |
| 仕掛品 | 610 | 未払法人税等 | 919 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,136 | 賞与引当金 | 276 |
| 前払費用 | 130 | その他 | 464 |
| その他 | 363 | | |
| 固定資産 | 20,766 | 固定負債 | 913 |
| 有形固定資産 | 1,993 | 繰延税金負債 | 809 |
| 建物 | 69 | 資産除去債務 | 77 |
| 構築物 | 75 | その他 | 27 |
| 機械及び装置 | 1,399 | | |
| 車両運搬具 | 0 | | |
| 工具器具備品 | 181 | 負債合計 | 6,891 |
| 建設仮勘定 | 268 | 純資産の部 | |
| 無形固定資産 | 360 | 株主資本 | 31,181 |
| ソフトウェア | 95 | 資本金 | 100 |
| のれん | 247 | 資本剰余金 | 22,593 |
| その他 | 17 | その他資本剰余金 | 22,593 |
| | | 利益剰余金 | 8,488 |
| | | その他利益剰余金 | 8,488 |
| | | 繰越利益剰余金 | 8,488 |
| 投資その他の資産 | 18,411 | 評価・換算差額等 | 1,312 |
| 投資有価証券 | 3,787 | その他有価証券評価差額金 | 1,280 |
| 関係会社株式 | 13,158 | 繰延ヘッジ損益 | 32 |
| 前払年金費用 | 1,249 | | |
| その他 | 226 | | |
| 貸倒引当金 | △9 | | |
| | | 純資産合計 | 32,494 |
| 資産合計 | 39,385 | 負債純資産合計 | 39,385 |

損益計算書

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

日新製糖株式会社

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 | |
|--------------|-------|--------|
| 売上高 | | 47,033 |
| 売上原価 | | 38,158 |
| 売上総利益 | | 8,874 |
| 販売費及び一般管理費 | | 6,240 |
| 営業利益 | | 2,634 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | |
| 受取配当金 | 1,261 | |
| その他 | 13 | 1,274 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | |
| その他 | 0 | 1 |
| 経常利益 | | 3,907 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 14 | 14 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 13 | 13 |
| 税引前当期純利益 | | 3,909 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,202 | |
| 法人税等調整額 | △ 47 | 1,154 |
| 当期純利益 | | 2,754 |

株主資本等変動計算書

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

日新製糖株式会社

(単位:百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | | | 純資産 合計 |
|--------------------|---------|------------|-------------------|-------------------|-----------------------------|------------|----------------------|-------------|--------------|-------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益 剰余金 | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 合計 | |
| | | 資 本 準備金 | その他 資 本 剰余金 | 資 本 剰余金 合 計 | その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金 | | | | | | |
| 当期首残高 | 100 | - | 22,593 | 22,593 | 5,733 | 28,427 | 1,095 | 9 | - | 1,104 | 29,531 |
| 当期変動額 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 新株の発行 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 吸収分割による増加 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 剰余金の配当 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 当期純利益 | - | - | - | - | 2,754 | 2,754 | - | - | - | - | 2,754 |
| 自己株式の取得 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 自己株式の処分 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 株主資本以外の 項目当期変動額 | - | - | - | - | - | - | 185 | 22 | - | 208 | 208 |
| 当期変動額合計 | - | - | - | - | 2,754 | 2,754 | 185 | 22 | - | 208 | 2,962 |
| 当期末残高 | 100 | - | 22,593 | 22,593 | 8,488 | 31,181 | 1,280 | 32 | - | 1,312 | 32,494 |

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 有価証券

イ. 子会社株式および関連会社株式… 移動平均法による原価法

ロ. その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

…… 時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

…… 移動平均法による原価法

(2) デリバティブ取引… 時価法

(3) 棚卸資産… 総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

…… 定額法によっています。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

機械及び装置 2～12年

工具器具備品 2～20年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

…… 定額法によっています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっています。

(3) リース資産… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっています。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

(2) 賞与引当金… 従業員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しています。

(3) 退職給付引当金または前払年金費用

…… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、退職給付引当金または前払年金費用として計上しています。

①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっています。

②数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生翌事業年度から費用処理しています。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、主に砂糖の製造・販売を中心として、甘味料やその他の食品の販売を行っています。これらの製品および商品の販売については、引き渡し時点において、顧客が当該製品や商品に対する支配を獲得、履行義務

が充足されると判断し、収益を認識しています。また、当社が顧客に対して支払う対価であるリベート等の一部について、売上高から控除しています。なお一部契約内容から代理人取引に該当すると判断される取引については純額表示を行っています。

5. 外貨建の資産または負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

6. ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

……繰延ヘッジ処理によっています。ただし、為替予約等が付されている外貨建金銭債権債務等については、振当処理を行っています。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

| <u>ヘッジ手段</u> | <u>ヘッジ対象</u> |
|--------------|--------------|
| 商品先物取引 | 粗糖仕入 |
| 為替予約取引 | 外貨建金銭債権債務 |

(3) ヘッジ方針 …… 当社の業務分掌規程に基づき、粗糖相場の変動および為替相場の変動によるリスクをヘッジしています。なお、粗糖相場の変動リスクに対するヘッジ取引については、取締役会規程および職務権限規程において取引権限の限度等を定めています。

(4) ヘッジ有効性評価の方法

……ヘッジ手段およびヘッジ対象に関する重要な条件が同一であり、かつ、ヘッジ開始時およびその後も継続して相場変動またはキャッシュ・フロー変動を完全に相殺するものと想定することができるためヘッジの有効性の評価は省略しています。

7. のれんの償却方法および償却期間

のれんの償却については、10年間の定額法により償却を行っています。

8. 消費税等の会計処理方法

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

当事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 100株

(その他の注記)

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

附属明細書

1. 有形固定資産および無形固定資産の明細

| 区分 | 資産の種類 | 期首 帳簿価額 | 当期 増加額 | 当期 減少額 | 当期 償却額 | 期末 帳簿価額 | 減価償却 累計額 | 期末 取得原価 |
|--------|--------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-------------|------------|
| | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 有形固定資産 | 建物 | 77 | 0 | — | 8 | 69 | 108 | 178 |
| | 構築物 | 88 | 1 | — | 15 | 75 | 712 | 787 |
| | 機械及び装置 | 1,516 | 185 | 3 | 298 | 1,399 | 10,158 | 11,557 |
| | 車両運搬具 | 1 | — | — | 1 | 0 | 20 | 20 |
| | 工具器具備品 | 216 | 34 | 1 | 68 | 181 | 580 | 761 |
| | 土地 | — | — | — | — | — | — | — |
| | リース資産 | 17 | — | 0 | 17 | — | 1 | 1 |
| | 建設仮勘定 | 123 | 477 | 332 | — | 268 | — | 268 |
| 計 | 2,042 | 698 | 337 | 409 | 1,993 | 11,580 | 13,574 | |
| 無形固定資産 | ソフトウェア | 117 | 24 | — | 46 | 95 | 198 | 294 |
| | のれん | 292 | — | — | 45 | 247 | 202 | 450 |
| | その他 | 15 | 55 | 53 | 0 | 17 | 1 | 18 |
| | 計 | 426 | 79 | 53 | 91 | 360 | 402 | 763 |

(注) 「機械及び装置」の「当期増加額」は、主に今福工場の経年劣化等による設備更新161百万円です。

2. 引当金の明細

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 |
|---------|---------|-------|-------|---------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 貸倒引当金 | 9 | — | — | 9 |
| 賞与引当金 | 233 | 276 | 233 | 276 |
| 退職給付引当金 | △ 1,070 | △ 91 | 87 | △ 1,249 |

(注) 退職給付引当金は、貸借対照表「投資その他の資産」に「前払年金費用」として表示しています。

3. 販売費及び一般管理費の明細

| 科目 | 金額 | 摘要 |
|----------|-------|----|
| | 百万円 | |
| 従業員給料 | 1,063 | |
| 諸権利利用料 | 632 | |
| 経営管理料 | 545 | |
| 運賃および保管料 | 1,831 | |
| その他経費 | 2,166 | |
| 計 | 6,240 | |

監査報告書

私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの第2期事業年度における取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2024年5月22日

日新製糖株式会社

常勤監査役

西 承 靖 文 